

英文和訳道場 第10回 関係詞

組( ) 番号( ) 氏名( )

If we are fools enough to remain at the mercy of the people who want to sell us happiness, it will be impossible for us ever to be content with anything. How would they profit if we became content? We would no longer need their new product. The last thing the salesman wants is for the buyer to become content. You are of no use in our prosperous society unless you are always just about to grasp what you do not have.

【大阪大 - 2】

和訳

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

**ポイント**

第9回からの続き。ここには関係詞のポイントはない。強いてポイントを1つ挙げると、unless の訳出。次の1993年のセンター試験空所補充4択問題が解ける？

I'll be surprised ( ) an accident. He drives too fast.  
if Tom doesn't have  
unless Tom has

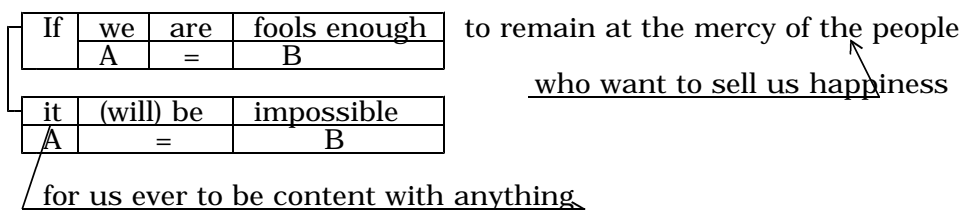
授業や参考書で書いてある様に「unless = if ~ not」と覚えているとこの問題は解けない。実際には unless if ~ not だからだ。じゃあ、どうやって得かというとなless Aを「Aの場合は別だが、そうでなければ」と訳出するようにクセをつけておくれ。if ~ not は今まで通り「もし~なければ」でよい。実際にやってみると、

if Tom doesn't have an accident = 「もしトムが事故を起こさなかったら、驚きだね！」  
unless Tom has an accident = 「トムが事故を起こす場合は別だが、そうでないと僕は驚いちゃう」

は論理的におかしい。だって、トムが事故を起こさない場合なんていくらでもあり、トムが屁をこいたり、トムが鼻くそをほじったりしても僕は驚かねばならなくなる。この機会に是非 unless の訳出方法を身につけて欲しい。

**見取図**

(7) If we are fools enough to remain at the mercy of the people who want to sell us happiness, it will be impossible for us ever to be content with anything.



\* enough to ~ をセットだと思っている人が多いが、直前の fools とセット。どのくらい脳タリンかという to 以下がその程度を示してくれている。さらに「A enough to ~」の定訳が「~するのに十分なほどA」なのだけど、日本語としてはちょっとおかしいよね。それより「Aなので~する」の方が日本語的。つまり「操られつづけるほど頭が悪い」よりも「頭が悪くて操られ続ける」とやってやる。

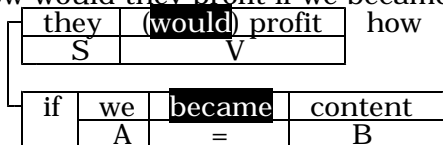
\* remain A で「依然としてAのままである」、「Aであり続ける」

\* at the mercy of A = Aのなすがままで、Aの意のままに、Aに翻弄されて

\* ever は「(現在完了)今までに」、「(否定語)絶対~ない」、「(疑問詞)一体全体」の3つ。は高校入試、が大学入試で問われる。ここでは直前の impossible を受けて の意味で使われている。同様に something が anything になっているのも impossible に呼応してのこと。

【全訳例】僕らの頭が悪くて、僕らに幸せを売りつけたい人々に操られ続けるのなら、僕らが何かに満足することは絶対に不可能だろう。

(8) How would they profit if we became content?



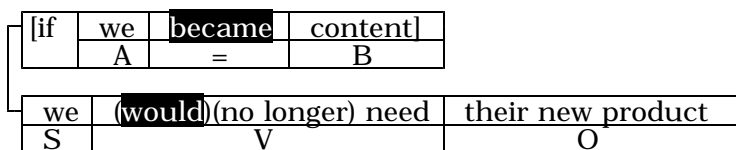
\* become content = 満足する。ここでは「満足してもうこれ以上何も欲しくない」くらいの意味。they は前文の the people who want to sell us happiness.

\* profit = 自動詞で「利益を得る、儲かる」、「得をする、恩恵を受ける」、「役に立つ、ためになる」

\* would や became から仮定法過去であることが分かる。

【全訳例】もし僕らが現状に満足して何も欲しがらんとするならば、幸せのセールスマンはどうやって儲けるのだろうか。

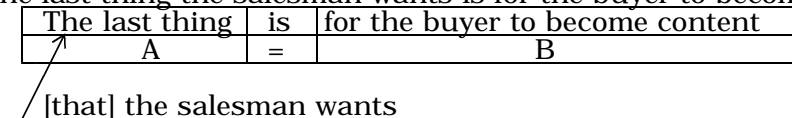
(9) We would no longer need their new product.



\* 動詞が過去形なのでこれも仮定法過去であり、条件節は前文のものが引き継がれていることが分かる。

【全訳例】もし僕らが現状に満足するのならば、僕らは彼らの売新製品をもはや必要とはしなくなるだろう。

(10) The last thing the salesman wants is for the buyer to become content.



【全訳例】幸せのセールスマンが望まないのは、買い手が満足してしまうことだ。

(11) You are of no use in our prosperous society unless you are always just about to grasp what you do not have.

You	are	of no use	in our prosperous society
A	=	B	

unless	you	( are always just about to) grasp	what you do not have
	S	V	O

\* 「of + 抽象名詞 = 形容詞」だから、本文は You are not useful と同じ。

\* 助動詞 be about to に always や just が挟まっている。「今まさに～しようとしている」が定訳だが、「今から～しようと思っている」という気持ちを表現している助動詞。

・ I was about to call you! 今君に電話しようと思ってた所よ!

\* be just about ~ = 「今ちょうど～するところである」の just。ここでは「すぐにでも手に入れようとする」くらいの意味。always はそんな気持ちでいつもいることを表している。

\* unless A は「Aの場合は別だが、そうでないなら」と訳す癖をつけておくこと。if ~ not と区別するのにも役に立つからね!

【全訳例】君が持っていないものをすぐにでも買いたいいつも思うのなら別だが、そうでないなら繁栄を謳歌する僕らの社会にあって、君はまったく役に立たない存在なのである。